

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0102102 - 01000

京都府南丹市
作成日: 平成21年05月12日

事業名	広報発行費	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	企画管理部 情報推進課 担当: 矢田 浩一
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 461 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等	南丹市広報広聴事務取扱規程	

【事業の概要】

- ① 施策で目指す目標との関連付け
市民と行政が共に担うまちづくりの仕組みを築くために、一体感を醸成するための事業。市民にとってわかりやすく、利用しやすい行政情報の提供に努める。
- ② 事業を実施する必要性
本市においては高齢者世帯も多く、より多くの市民と情報が共有できるように、可能な限り分かりやすく写真やグラフ等を用いた紙媒体の広報誌を発行し、確実に各家庭に情報を届ける必要がある。また、多種多様な情報を集約し、周知することで、情報を必要とする市民の選択の幅を広げることができる。
- ③ 未実施事項
「広報なんたん」は年間6回(隔月)、「お知らせなんたん」は年間24回(月2回)の発行計画を予定通り実施できた。
- ④ 他にも効果が見込める施策があるか
すべての施策において、広報紙を通じて広報・啓発することにより、周知・推進の効果が認められる。
・ 第4章6 行財政改革を推進する
= 情報公開条例の適正な運用を行うことで市民と情報を共有できる。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	5,976	6,026	4,593	7,609	7,609
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,976	6,026	4,593	7,609
職員等従事人員	人/年	—	—	1.20		
人件費	千円	—	—	7,408		
事業費総額	千円	—	—	12,001		

【主な支出の内訳】

広報なんたん印刷代 2,428千円
 お知らせなんたん台紙印刷代 1,732千円

【近隣市町村の取り組み状況】

亀岡市、京丹波町では毎月広報紙を発行

【前年度の評価を受けて改善した点等】

広報アンケートを実施し、市民の意見(文章がわかりにくい、おもしろ味に欠けている、地域に密着した話題の記事を増やしてほしい。など)から内容改善に取り組んでいる。また、今回、質問項目に「市政への理解が深まりましたか」を加え、事業評価の数値化に努めている。

【所属長総括評価】

- ① 有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 広報誌(紙)の特色を出すため、記事の選別を行い簡略かつ明瞭化を心がけ体裁を工夫した。
- ② 当該事業のアピール事項 隔月刊誌「広報なんたん」と隔週刊紙「お知らせなんたん」の定期的な発行により、市民に必要な情報をわかりやすい紙面で伝えることができた。広報アンケートをとり市民の意見や感想を聞き取ることによって、市民に一番身近な情報誌の内容充実に役立てられた。
- ③ 反省点、今後の展開・方向性等 現在、広報誌(紙)への広告掲載予定はないが、自主財源確保のための広告料収入の品位、公共性、公益性の観点からの慎重な審議が必要である。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	461	事業名	広報発行費		
事業CD	102102-01000	細事業名			
所管部局	企画管理部	所管課	情報推進課	担当	矢田 浩一

102102-01000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
広報発行	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報なんたんの編集・発行(隔月、第2金曜日発行) 4・5月号(28P)、6・7月号(22P)、8・9月号(26P)、10・11月号(28P)、12・1月号、2・3月号 vol.33 (24P) 南丹市のまちづくりの方向や方針について、写真やグラフ等を用いて分かりやすく市民に伝えるとともに、まちづくりや市政への関心を高める目的で発行した。 	5月9日(金)、7月11日(金)、9月12日(金)、1月14日(金)、1月9日(金)、3月13日(金)	各14,000部を市内各戸及び市内外関係機関へ配布 事業費:2,562,285円(印刷製本費・郵送料)
お知らせ発行	<ul style="list-style-type: none"> ● お知らせなんたんの編集・発行(月2回、第2・4金曜日発行) 第54号～第77号 行政情報や学習機会、イベント情報などを集約し、周知することで、情報を必要とされる方の選択の幅を広げた。 	4月11日・25日、5月9日・23日、6月13日・27日、7月11日・25日、8月8日・22日、9月12日・26日、10月10日・24日、11月14日・28日、12月12日・25日、1月9日・23日、2月13日・27日、3月10日・27日	各13,000部を市内各戸に配布 事業費:1,871,667円(印刷製本費・用紙代) 掲載件数:54号25件、55号20件、56号24件、57号27件、58号40件、59号39件、60号35件、61号32件、62号27件、63号36件、64号34件、65号35件、66号37件、67号42件、68号30件、69号19件、70号23件、71号27件、72号31件、73号31件、74号23件、75号23件、76号27件、77号22件
広報研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成20年度広報初任者研修会へ出席 ● 広報基礎講座(第114回広報セミナー)へ出席 ● 平成20年度広報研修(写真の部)へ出席 ● 平成20年度広報研修(戦略的広報展開の講演会)へ出席 ● 平成20年度広報研修(広報紙の部)及び平成20年度京都府広報広聴研究大会へ出席 	5月29日(木) 6月19日(木)～20日(金) 11月21日(金) 12月15日(月) 2月24日(火)	「広報なんたん8・9月号」が、京都府広報賞の「広報紙 市の部 会長賞」及び「組み写真の部 会長賞」を受賞
広報広聴委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報広聴委員会を開催 各部局から広報広聴委員を選出し、広報広聴業務に必要な情報の収集及び把握に務め、広報広聴活動の的確で能率的な運営を図った。 	4月11日(金)、5月28日(水)、7月23日(水)、9月30日(火)、11月17日(月)、1月14日(水)、3月17日(火)	開催回数:7回